

今日のトピック 戻り歩調にあるベトナム株式市場

堅調な経済を背景に株式市場は回復基調

ポイント1

**ベトナム株は戻り歩調
堅調な景気動向を評価**

- ベトナム株式市場は、4月上旬に高値を付けた後、米中貿易摩擦や米ドル高に伴う新興国市場からの資金流出懸念などを嫌気し、大きく調整しましたが、7月中旬に底入れしました。ベトナムの代表的な株式指数のベトナムVN指数は、その後6週連続で上昇するなど、戻り歩調にあります。
- 7月の鉱工業生産の前年同月比が+14.3%となるなど国内景気が堅調なことに加え、経済面で依存度の高い中国が、2018年下期に積極的な財政政策で景気を下支えする方針を決定したことも買い安心感につながっています。

ポイント2

**PERの割高感が解消
EPSの増加基調は続く**

- ベトナムVN指数の株価収益率（PER、株価÷1株当たり予想利益、12カ月先予想ベース）をみると、過去5年の平均値は13.7倍となっています。株価が直近のピークだった4月上旬にはPERは20倍台と、やや過熱感がみられましたが、その後の調整により平均値程度まで低下したところで反発しました。8月27日時点のPERは15.1倍と、特段の割高感はありません。また、1株当たり予想利益（EPS）は今後も増加が見込まれています。

【ベトナム株式市場とPERの推移】



（注1）データは2013年8月2日～2018年8月27日、週次。（年/月）
（注2）ベトナムVN指数は2013年8月2日を100として指数化。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【予想EPSの伸び率（前年比）】

	2018年	2019年	2020年
ベトナムVN指数	6.9	21.8	33.6

（注）データは2018年8月27日基準。
（出所）Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

堅調な経済を背景に株式市場は回復基調が続く

- 足元のベトナム経済は、内外需とも堅調です。直接投資の伸びが高いことや、中間所得層の増加に伴う個人消費の拡大を背景に、中長期的にも高い経済成長が続く見通しです。弊社の予想では、2018年～2019年にかけて+6.8%程度の成長を見込んでいます。
- 株式市場の大幅調整を経て、バリュエーション（株価評価）の割高感は概ね解消しているとみられます。企業業績の拡大が予想されるなか、株価はEPSの伸びに沿った価格形成が見込まれます。良好な経済が再評価され、国内外からの資金流入とともに、ベトナム株式市場は回復基調が続くと期待されます。

**ここも
チェック!**

2018年8月22日 アセアン5の経済成長率と株式市場の見通し
2018年8月 7日 アジア・マンスリー（2018年8月号）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。